

2017年度SGH成果発表会兼第22回公開教育研究会報告

研究部 玉谷直子

SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定4年目となった2017年度は、SGH科目として研究開発を進めてきた「グローバル地理」（第1学年、必修、2単位、地理歴史科学学校設定科目）、「持続可能な社会の探究Ⅰ」（第2学年、必修、2単位、総合的な学習の時間）、「持続可能な社会の探究Ⅱ」（第3学年、必修、1単位、総合的な学習の時間）における学習活動の成果を広く発信する機会を設けるとともに、SGH科目における指導や評価の方法について発信・協議する機会を設けるため、昨年度同様、成果発表会と公開教育研究会を兼ねて実施した。

午前の部では、まず1年生5名が「グローバル地理」における学びを活用して作成した、地図を用いた課題解決案について発表した。その後、「持続可能な社会の探究Ⅰ」の各講座の代表生徒が、それぞれの講座の紹介と自分たちの課題研究の過程や成果を、4講座が日本語で、2講座が英語で発表した。最後に3年生4名が、クラスごとに英字新聞を作成する「持続可能な社会の探究Ⅱ」における取組について、各クラスの英字新聞を作成する過程や新聞の内容、取組を通して学んだことについて英語による発表を行った。

午後の部では、「持続可能な社会の探究Ⅰ」の各講座に分かれ、1年間課題研究に取り組んできた2年生が、次年度当該講座に配属される1年生に対し、主に課題研究の方法についてガイダンスをする目的でグループワークを行った。各分科会の様子については、161ページの各講座の報告を参照されたい。

外部の参加者は教育関係者25名、保護者（午前中のみ）59名、附属中学校生徒19名、附属中学校教諭2名であった。また、SGH運営指導委員3名と管理機関であるお茶の水女子大学から5名の教員も参加した。

教育関係者のみを対象とした参加者アンケートでは、午前の部に「大変満足している」と回答した方が80%、「満足している」と回答した方が20%であった。午後の部については「大変満足している」と回答した方が95.2%、「満足している」と回答した方が4.8%であった。また「今回の成果発表会は、ご自身の授業や研究に役立つそうですか」という調査項目には、95.2%の方が「大変役立つものがあつた」と、4.8%の方が「まあまあ役立つものがあつた」と回答している。

具体的には、午前の成果発表に関しては「課題の探究はもちろんアクションにまでつながっており、すばらしい出来でした。」との声がある一方、「アンケートをとり考察を行っているのが良いなと思いましたが、（調査対象が）高校・中学のみになっている」などの指摘もあつた。こうした指摘については生徒に伝え、探究の手法について考えるきっかけとさせていきたい。午後の「持続可能な社会の探究Ⅰ」の各講座における1・2年生の異学年交流については、「2年生から1年生に何をどう伝えるかという点が参考になった」「高1だけでなく高2にとってもリフレクションの機会として有効」との

評価をいただく一方、「ある事象の多様性についてはもう少し詳しく調べたほうがいいなどと思うこともありました」との声もあり、生徒が生徒に伝える際、情報の正確さ、適切さを担保するため、教員がどのようにかかわっていくのが今後の課題として残された。本校のSGHプログラム全体については「3年をかけて生徒の課題発見→探究→社会参画の姿勢を育てるという視点は改めて勉強になりました」との評価を得られた。「中間発表会、あるいはポスターセッション形式のものを見てみたい」との声があったため、2018年度は6月と11月にSGH科目の授業公開を行うこととしている。

なお、本年度の成果発表会兼公開教育研究会の概要を以下に記しておく。

2017年度SGH成果発表会兼第22回公開教育研究会

1 日 時 2018年3月10日(土) 10:00～15:30

2 会 場 お茶の水女子大学講堂 および 附属高等学校校舎

3 時 程

9:30～ 受付(講堂)

午前の部(講堂)

10:00～10:10 開会式

10:10～10:20 1年生「グローバル地理」(学校設定科目)代表生徒成果発表

10:20～11:50 2年生「持続可能な社会の探究Ⅰ」(総合的な学習の時間)

各講座代表生徒成果発表

① 経済発展と環境

「ウナギを持続可能にするために」

② 生命・医療・衛生

「インフォームド・コンセントの普及に向けて」

③ 国際協力とジェンダー

「What is Gender?～女性の労働における地位向上を目指して～」

④ 国際関係と課題解決

“Achieving Gender Equality in South Africa”

⑤ 情報技術と創造力

「安心して暮らせる社会のために～情報社会の今と中高生～」

⑥ 言語に依存しない情報発信

「車いす利用者も安心して観戦できるスタジアム」

11:50～12:00 3年生「持続可能な社会の探究Ⅱ」(総合的な学習の時間)

代表生徒による英字新聞の紹介

午前の部(講堂)

13:00～14:00 「持続可能な社会の探究Ⅰ」1・2年生によるグループワーク

14:20～15:30 研究協議、閉会式

(15:40～16:40 運営指導委員会)